

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称		〔17〕 東京都台東区立特別養護老人ホーム蔵前				
指定管理者の名称		社会福祉法人東京援護協会		指定期間	H21. 4. 1 ~ H26. 3. 31	
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
(1) 業務内容	特別養護老人ホーム(3)、ケアハウス(1)、高齢者在宅サービスセンター(6)、居宅介護支援事業所(6)、地域包括支援センター(3)、訪問介護事業所(1)、身体障害者更生援護施設(3)、知的障害者援護施設(2)、福祉センター(2) 障害福祉施設(4)、隣保事業(2)厚生施設ほか(5) 緊急一時保護事業(1)					
(2) 類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム2施設、ケアハウス1施設					
(3) 経営状況	[社会福祉事業会計] (22年度決算ベース) 歳入4,875,379,308円, 歳出4,788,293,245円, 収支差額87,086,063円					
<b>2. 施設の概要</b>						
(1) 所在地	台東区蔵前2-11-7					
(2) 設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行い、高齢者の福祉の向上を図る。					
(3) 利用者	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者					
(4) 開館日・時間	通年、24時間					
(5) 規模	延べ床面積 3,937㎡ 鉄筋コンクリート造 地上7階地下2階：相談室、居室、食堂、ボランティア室、浴室(機械浴、一般)など					
(6) 人員体制	36名 内訳…施設長(1)、事務員(2)、相談員(1)、介護職員(常勤17、非常勤9、派遣1)、看護職員(常勤3、非常勤1)、栄養士(1)					
<b>3. 事業(サービス提供)の概要</b>						
(1) 委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助(食事、介護(排泄援助、入浴援助)、季節行事等) 地域・ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業、併設事業として短期入所生活介護の運営、施設・付属設備及び物品の保全、施設内の清潔整頓、その他環境整備等					
(2) 自主事業	自主事業は行っていない					
<b>4. 予算決算の推移</b>						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料(21年度から)	77,684,000	68,413,000	48,414,000	59,126,000	57,302,000
	料金収入等	188,053,000	195,286,000	216,625,000	213,524,000	222,881,000
	管理経費	265,737,000	263,699,000	265,039,000	272,650,000	280,183,000
決算	委託料(21年度から)	48,414,116	68,413,000	48,414,000	59,073,800	57,295,735
	料金収入等	244,720,217	216,008,430	225,214,514	229,923,189	258,200,174
	管理経費	275,891,405	263,614,382	268,359,514	274,859,018	282,560,818
	収支	17,242,928	20,807,048	5,269,000	14,137,971	32,935,091
<b>5. 施設の稼働状況等(活動指標)</b>						
指標名称		単位	19年度	20年度	21年度	22年度
入所定員		人	50	50	50	50
<b>6. 成果指標</b>						
指標名称		単位	目標値(24年度)	20年度	21年度	22年度
利用率		%	99.0	95.5	98.3	95.7
利用者数		人	18,000	17,435	17,943	17,457

**7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み**

利用者から高い評価を得られるようなサービスを提供していくとともに、空床日数を短縮化により料金収入の増収に取り組んだ。

**8. 評価項目**      3：協定等の水準を上回っている。      0：協定等の水準を下回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。      -：評価対象外項目。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.2]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[-]
	(c) 職員配置	[3]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[3]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

**9. 評価**

S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	S	事業の運営は適切に実施されている。基準以上の人員を確保し、未資格者に対しては資格取得に向けた支援を行っている。また、災害対策マニュアルの見直しを行い毎月訓練や研修を実施している。
(2) 施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理については、全体的に適切に対応されている。施設の老朽化に伴う修繕等の対応についても迅速に行われている。
(3) 利用者の満足度	A	満足度調査の結果も概ね高い評価を得ており、利用者の要望に沿ったサービスの提供に努めている。長期入院者や新規入所の円滑化が図れず、利用率は減少している。
(4) 歳入歳出	A	予算については概ね適切に執行されている。利用率の改善に取り組む、また管理経費の削減に努め引き続き収支改善の努力が必要である。

**10. 総合評価**      良好   妥当   要努力   要改善   不適

**妥当**      職員配置基準を上回る有資格者を配置し、また満足度調査でも概ね高い評価を受けている。利用率が減少しているため、空床日数の短縮化などの取組みが必要である。

**11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応**

満足度調査では利用者から高い評価を受けており、利用者のニーズに応じたサービスを提供できるよう努めている。また施設の管理運営についても全体的に適切に行われている。利用率が減少しているため、空床日数の短縮化などの取組みを行いながら、経費削減を図っていく必要がある。